

少しづつ

上野原市立病院 青木純子

はじめに

皆様、初めまして。NP-NDC 研修センター6期生、上野原市立病院に勤務しております青木純子と申します。

まず、上野原市と当院の紹介をさせていただきます。

上野原市は山梨県の最東部に位置し、東京都や神奈川県との県境に位置しています。溪流釣りができたり、広大な自然に囲まれたゴルフ場なども多く、緑の豊かな地域です。春を迎える季節は河川敷の桜が大変きれいで、私は毎年楽しみにしています。

また上野原市は山梨県最東部に位置しているため首都圏へのアクセスも良いところも魅力の1つだと思っています。

私は生まれも育ちも上野原で小さい頃は「絶対に東京へ行くんだ!」という野望もありましたが、上野原の魅力に気づいた今は上野原から出なくてよかったと、上野原大好きになりました。

私が勤務しております上野原市立病院は市内唯一の2次救急を担う救急医療機関として、外来・入院(病床数135床)・通所リハビリ・訪問看護・訪問診療などを中心に運営しています。

特定ケア看護師を目指したきっかけ

日々の勤務の中で「なにかおかしい……」と思うことや「今すぐ主治医に報告するほどではないけど、でもなにか介入したほうがよいのでは

……」というモヤモヤした思いを抱えながら勤務をすることもよくありました。自分のアセスメント力を伸ばす方法や、主治医への報告の仕方など、どうしたらいいのかと悩むことも非常に多かったです。

そんな中、診療看護師の筑井菜々子さんが特定ケア看護師の紹介で当院に来てくださり、特定ケア看護師の存在を知りました。私のモヤモヤを払拭できるのは特定ケア看護師ではないかと感じ、筑井さんのお話は非常に刺激的でした。しかし、私には子どもも家庭もあり、研修に行くなんてとてもできないと思っていた時、同僚だった志村はるかさん(NDC 3期生)が同じような環境の中、手を挙げ研修センターに入校しました。そんな姿を見てまた刺激を受けました。私もやっぱり特定ケア看護師になりたい、研修に行きたいと強く思うようになり、なんとか家族を説得し、周囲の協力を得られるようお願いし、研修センターへ入校することができました。

現在の研修活動

私は2022年3月に特定行為研修を修了し、現在は自施設で臨床研修として内科・脳外科・整形外科をローテーションし、医師に付いて幅広く活動させてもらっています。

執筆している現在は整形外科の指導医に付いて勉強させてもらっていますので、現在の整形外科での研修内容を紹介させていただきます。

まず朝の回診では病状の把握や術前術後の管理を共有し、指導医が外来診療中は改めて病棟

の患者の回診を行い、処方の代行入力や診療録の記載を行います。

病棟では治療方針の共有や、病棟看護師からの相談などを聞き介入、それらをまた指導医と共有することなどを行っています。手術がある日は手術室へ行き、手術の見学や介助、手術中のファーストコールの対応などを行います。

1日の終わりにはバイタルサインや食事の摂取量、リハビリの進捗状況など一通り情報を共有、処方やリハビリのオーダー漏れがないかなどの確認をし、最後にもう1回患者さんのもとへ行き、顔をみてリハビリなどの1日の労いを含めた回診をして、終了しています。

臨床研修でもうひとつ忘れられない研修があったので紹介させてください。

10月に2週間、岐阜県にありますシティ・タワー診療所に診療所研修に行かせていただきました。シティ・タワー診療所は訪問診療に大変力を入れている施設で、そこで勤務する全ての職種の方が、地域で生活する方のために一生懸命でした。診療所研修で学ぶことができた訪問診療における特定ケア看護師の役割は、医療的なアセスメントを行いその一環として特定行為を実施すること、診療の手順を踏む中で何かおかしいと思ったことをアセスメントし、主治医に自分の考えをプレゼンできること、そのことについて議論し主治医や看護師と共有すること、患者・家族の考えや思いを引き出すコミュニケーション能力を発揮すること、多職種との連携の橋渡しとしての役割を担うことなどが挙げられると思いました。診療の中で、つい医療的な処置に注目してしまい、特定ケア看護師も特定行為を行うことに重きを置きがちになってしまうことがあります。特定ケア看護師は特定

行為ができる看護師というだけではなく、特定行為ではないプラスαの部分に対しても、目指すべき姿があるのではないかと感じた研修でした。これは病院で活動するにあたって大変重要なことだと思いました。

今後の活動は……

当院には3期生の志村さんが活動しており、その働きぶりはかっこよくまぶしく、研修中もいつも助けてもらっている心強い存在です。

また今年度は横須賀市立うわまち病院からの支援を受けて、特定ケア看護師に年間通して勤務していただいています(現在は2期生の畑さんが支援に来てくださっています)。

先輩方のようにはまだまだ働けず、歯がゆさや情けなさを感じることも多く、悩むことも多いですが、特定ケア看護師になりたいと思った時の初心や、研修を通して学んだことを患者さんや病院に還元できるように活動していきたいと思います。

また特定ケア看護師になりたいと思ってもらえるような魅力的な活動ができること、困ったときに気軽に相談できること、頼りになる人であることが特定ケア看護師としては重要だと思っていますので、常に謙虚な姿勢を心掛け、人としても成長できるよう活動していきたいと思っています。

最後に

研修に携わって指導していただいている全ての皆様、研修を支えてくださっている全ての皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。